

## 『新栄総合管理株式会社コンプライアンス行動規範』

### 1. 企業の活動

当社の企業理念は、「心身ともにストレスを感じない健康の提供」です。

人々の暮らしの基盤となる「住」に関するあらゆる場面をもっと快適に、もっと健康に、もっと笑顔に変えていくことを意識して行動してください。

#### (1) お客様重視

##### ① サービス品質と顧客ニーズ

私たちは、コンプライアンスの活動を通し、多様化するニーズに応え、社会に必要なサービスと商品を提供します。

##### ② 個人情報の保護

ステークホルダーの皆様から取得した個人情報は、皆様の大切な財産であることを認識して、個人情報を大切に取り扱い、お客様から許諾され、かつ業務に必要な範囲以外には使用しません。

##### ③ 誠実な顧客対応

私たちは、お客様からお預かりした資産の管理・運営に最善を尽くします。万一、サービスや商品への苦情等が寄せられた時は、迅速でかつ誠実な対応を約束します。

#### (2) 取引先との適正取引

私たちは、一定のルールのもとに取引先と法令違反のない適正な取引を行います。

### 2. 企業と社会

社員は、当社が良き企業市民の一員であることを理解し、社員自身も良き市民の一員であることを再認識してください。

#### (1) 株主への義務

##### ① 適切な情報開示

私たちは、株主に対しタイムリーかつ適切な情報の開示とコーポレートガバナンスの推進に努めます。

##### ② 適正な会社運営

私たちは、必要な内部統制システムを構築し、社会からの信頼を維持します。

#### (2) 社会との連携・協調及び社会貢献

##### ① 地域との連携

私たちは、良き企業市民としての自覚を持ち、地域社会におけるコミュニティ形成に取り組んでいきます。

##### ② 地球環境への貢献

私たちは、ラブアース・クリーンアップの活動を通し、地球環境への貢献を推進します。

##### ③ 反社会的勢力との絶縁

私たちは、反社会的勢力とは一切関わりを持ちません。それらの団体との取引は、名目の如何を問わず決して行いません。

##### ④ 業界地位の向上

私たちは、行政との健全な協調・連携を通し、業界全体の社会的地位向上に努めます。

### 3. 企業と従業員

社員としてあるべき姿を理解し、良き社員として活動してください。

#### (1) 社員としての活動

##### ① 誠実で責任ある行動

私たちは、自らの仕事に誇りと自信を持って取り組みます。また、就業規則をはじめとする会社のルールを遵守するとともに、誠実で責任のある行動を実践します。

##### ② 守秘義務

私たちは、守秘義務を厳格に守り、業務で知り得たあらゆる情報を法令、社内規程等のルールに従い適切に管理し、決して許可なく外部に漏洩させません。また、退職後もこれを遵守します。

##### ③ 知的所有権の取扱い

私たちは、有形無形を問わず会社の財産を大切に扱い、目的外使用をしません。特に、知的所有権（ソフトウェアの著作権等）の取扱いは、法令を遵守し社内ルールに則って厳格に行います。

##### ④ 取引先との接待

私たちは、取引先やその関係先からの接待あるいは贈答を一切受けません。

##### ⑤ 理念の実現

私たちは、「理念の実現をはかることは社員全員の利益」という共通認識を持ち、自分や特定の個人の利益になる行動はとりません。

#### (2) 職場環境の向上

##### ① 社員個人の尊重

当社は、社員全員を個人として尊重し、その能力を最大限発揮できるよう自由に風通しのよい企業風土を育てます。

##### ② 職場の安全

私たちは、労働関係法令を遵守し、職場の安全と事故防止に取り組みます。

##### ③ 差別の禁止

私たちは、性別、年齢、学歴、宗教その他による差別は決して行いません。また、社員の人権意識向上に努めます。

##### ④ セクハラ等の禁止

私たちは、セクハラ、パワハラ等の行為は決して許しません。また、誤って周囲に不快感を与えないように注意します。

##### ⑤ 喫煙ルール

私たちは、喫煙のルールを正しく理解し、これを遵守します。

##### ⑥ 飲酒ルール

私たちは、飲酒のルールを正しく理解し、これを遵守します。飲酒運転の車両に同乗しません。

### 4. 判断に迷った時の行動

(1) 私たちは、判断に迷った時、次の事項を自分に問いかけます。

- ・ 自分がとろうとしている行動は適法・公正か？
- ・ 自分がとろうとしている行動は公平・誠実か？
- ・ 自分がもしその行動をとった場合、後悔しないか？

- ・ 自分がとろうとしている行動が新聞やニュースになったとき社会はどのように評価するか？
  - ・ 自分がとろうとしている行動に自信を持って家族や友人に話すことができるか？
- (2) 私たちは、次のような考え方は絶対にしません。
- ・ 結果さえよければ、どんな手段を使ってもよい。
  - ・ 自ら行動すれば、責任を負うことになるから行動しない。
  - ・ 黙っていれば誰も気がつかない。
  - ・ みんながやっているから自分がやっても大丈夫だ。
  - ・ 他の人の責任にすればよい。
- (3) 私たちは、次のような場合、まず上司に相談します。
- ・ 社会常識・倫理・法令・企業理念・社内規程・行動規範・業務手順（業務フロー、業務記述書）等に反するおそれがあることを行った。
  - ・ 他の人が社会常識・倫理・法令・企業理念・社内規程・行動規範・業務手順（業務フロー、業務記述書）等に反するおそれがあることを行っている。
  - ・ 社会常識・倫理・法令・企業理念・社内規程・行動規範・業務手順（業務フロー、業務記述書）等に反するおそれがあることをするように言われた